

Yokohama  
**Paratriennale**  
ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014

ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014 が  
「日本のコ・クリエーション アワード 2014」ベストケーススタディに選出！  
[www.paratriennale.net](http://www.paratriennale.net)

このたび、「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014」は、2014年に国内で実施された企業・自治体・団体などの優れたコ・クリエーション(共創)を顕彰する「日本のコ・クリエーション アワード 2014」(株式会社電通・株式会社インフォバーン)において、“ベストケーススタディ”に選定されましたのでお知らせします。

「日本のコ・クリエーション アワード 2014」は、両社が2012年6月に立ち上げたオープンイノベーションのウェブメディア上で行われ、一般公募、推薦により、2014年を代表する23の事例がノミネートされました。厳正なる審査を経て、「先進的かつイノベティブで新しい価値づくりを促進する」とされた5つの事例が2014年の“ベストケーススタディ”として選定されました。

その他の受賞事例の詳細は、ウェブメディア「cotas」上に掲載されている特集「日本のコ・クリエーションアワード 2014」(<http://cotas.jp/category/topics/>)でご確認ください。

ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014 においては、下記の点を高く評価いただきました。(ウェブサイトより)

- ◆コ・クリエーションは、地道でとても根気のいること。それを障害の有無を超えた協働としてアートに昇華させ、さらに世界へ発信するというのが本プロジェクト。ここにひとつのコ・クリエーションの未来を見た。
- ◆アーティストと障害者施設のコラボレーションによる次世代型ものづくりの実験を梃にして、オリンピック開催の2020年を目標にダイバーシティの実現をダイナミックに推進している。社会課題をクリエイティブな共創力によって解決しようとしている点を評価。

#### ■ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014 について

“障害者”と“多様な分野のプロフェッショナル”の協働から生まれる現代アートの国際展。人々の出会いと協働の機会を創出し、誰もが居場所と役割を実感する地域社会の実現を目指す。

その開催第1回目として、「first contact -はじめてに出会える場所-」をテーマに、展示やパフォーマンス、ものづくりなど多彩なプロジェクトを展開しました。

会期： 2014年8月1日(金)～11月3日(月・祝) コア期間8月1日(金)～9月7日(日)  
会場： 象の鼻テラス  
主催： 横浜ランデヴープロジェクト実行委員会\*、特定非営利活動法人スローレーベル  
共催： 横浜市、2014年東アジア文化都市実行委員会  
\*横浜ランデヴープロジェクト実行委員会・・・横浜市文化観光局、横浜市健康福祉局、スパイラル/株式会社ワコールアートセンター、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、神奈川新聞社

本リリースに関するお問合せ先：ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2014 開催事務局  
〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目 象の鼻テラス内 (担当：橋爪)  
MAIL: [info@paratriennale.net](mailto:info@paratriennale.net) TEL: 045-661-0602 FAX: 045-661-0603